

清水所のJ★ガールが地本部長を訪問

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）清水募集案内所は、6月23日（火）、航空自衛隊第6航空団（小松基地）所属の中本比衣奈空士長と、海上自衛隊多用途支援艦「えんしゅう」所属の名古屋麻佑1等海士の静岡地本部長訪問を支援した。

中本空士長は平成31年3月、名古屋1等海士は令和元年9月に清水所から入隊した隊員であり、同所で作成している自衛官募集用オリジナルポスターのモデルにも起用されている。この度、都道府県をまたぐ移動の自粛要請が緩和され、休暇を取得して帰省する期間が偶然にも一緒だったことから、清水所長が本部長訪問を提案し、2人併せての訪問が実現した。

2人は本部長室で杉谷本部長と面会。はじめに清水所長が本部長にポスターモデルに起用した経緯や実際に掲示されたポスターの紹介を行い、その後懇談に移行した。

中本士長は「ポスターモデルに起用していただいて光栄です。自分がポスターに写っているのが不思議な感じですが、募集に協力できて嬉しいです」と話し、「現在は衛生員として勤務していますが、新型コロナウイルス対応の最前線にいますので、緊張感のある毎日を過ごしています」と近況を語った。

一方、名古屋1士は「教育隊を修業したばかりで、今はディール員としての仕事を覚えることで精一杯です」と話しつつも、「大学の後輩から『ポスター見ました』とよく連絡が来ます。少し恥ずかしいですが、静岡地本の活動に微力ながら協力していきます」と決意を表した。

杉谷本部長は「静岡地本の自衛官募集に協力してくれて非常に感謝している。今後も可能な限り協力してもらえるとありがたい」と伝え、「新型コロナウイルスに感染しないよう健康管理に留意し、自身の業務に励んでもらいたい」とエールを送った。

静岡地本は、今後もさまざまな媒体を活用して自衛隊の魅力をアピールするとともに、募集活動協力者の支援を積極的に行っていく。



自衛官候補生が前期教育課程を修了

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は6月29日（月）、陸上自衛隊板妻駐屯地（御殿場市）で行われた第34普通科連隊自衛官候補生課程教育修了式を取材し、県内出身隊員を激励した。

午前10時。駐屯地のグラウンドに、3カ月の教育期間を乗り越えた自衛官候補生103人とその家族、そして教育を担当した隊員などが集まり、修了式が挙行された。

今後の配属先とともに一人ひとりの名前が呼ばれた後、晴れて2等陸士に任官した自衛官候補生たちは、自衛官として責任感を持って職務を遂行することを誓う「服務の宣誓」を全員で声高らかに宣言した。

教育を担当した第34普通科連隊長・深田満男1等陸佐は式辞で、「同期とともに困難を克服し、今日を迎えることができた。これから自衛官という仕事に誇りを持ち、与えられた任務を完遂し、邁進していこう」と、これから自衛官の道を歩んでいく若者たちに温かい言葉を送った。

修了式を終えた富士宮市出身の隊員は「入隊当初は体力がなく、やっていけるか不安だったが、同期と助け合って乗り切ることができた。後期教育も頑張りたい」と笑顔を見せた。

静岡地本は、板妻駐屯地における自衛官候補生の取材を続け、成長を見守ってきた。今後も新入隊員の教育の様子をホームページ等で発信し、自衛隊への理解促進に努めていく。

